

— 経営感覚のある財政運営を目指して —

バランスシート・行政コスト計算書を公表します

市では、市民の皆さんによりわかりやすい財務情報を提供するため、バランスシート・行政コスト計算書を作成しました。バランスシートを作成することで、市の財政状態が一覧表で示され、市の所有する現金、動産、不動産等の資産や、今後返済しなければならない借入金等の負債が一目でわかります。また、行政コスト計算書を作成することで行政サービスのうち、人的サービスや給付サービス等の資産形成につながらない行政サービスに生じているコストがわかります。なお、バランスシート・行政コスト計算書は、総務省から示された統一基準により、平成13年度決算統計の数値を基に作成しました。今回は、バランスシート・行政コスト計算書を市民の皆さんに公表します。

※問い合わせ 財政課 (☎998-9030)

■ バランスシート (平成14年3月31日現在)

借 方			構成比	貸 方			構成比
【資産の部】				【負債の部】			
1. 有形固定資産	3,153億8,696万円	93%	1. 固定負債	851億 561万円	25%		
うち土地	1,550億3,569万円		(1) 地方債	539億3,528万円			
			(2) 債務負担行為	102億7,968万円			
			(3) 退職給与引当金	208億9,063万円			
2. 投資等	100億3,356万円	3%					
(1) 投資および出資金	28億1,223万円		2. 流動負債	45億3,994万円	1%		
(2) 貸付金	12億9,632万円		(1) 翌年度償還予定額	45億3,994万円			
(3) 基金	45億9,167万円						
(4) 退職手当組合積立金	13億3,331万円		負債合計	896億4,555万円	26%		
3. 流動資産	140億5,267万円	4%	【正味資産の部】				
(1) 現金・預金	85億 780万円		1. 国庫支出金	341億6,651万円	10%		
(2) 未収金	55億4,487万円		2. 県支出金	33億7,802万円	1%		
			3. 一般財源等	2,122億3,311万円	63%		
資産合計	3,394億7,320万円	100%	正味資産合計	2,498億2,765万円	74%		
			負債・正味資産合計	3,394億7,320万円	100%		

■ 債務負担行為にかかる補償金等

① 債務保証および損失補償にかかるもの (本表に掲載したものを除く)

…………… 91億365万円

② 利子補給等にかかるもの (本表に掲載したものを除く)

…………… 1億940万円

◎万円未満切り捨てのため、個々の合計は必ずしも一致していません。

■ 行政コスト計算書 (平成13年4月1日～14年3月31日)

行政コスト	総額	(構成比)	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	教育費	その他
人にかかるコスト	220億3,832万円	32%	42億5,381万円	45億6,959万円	34億2,226万円	17億1,984万円	31億5,786万円	40億4,742万円	8億6,751万円
物にかかるコスト	221億 236万円	33%	44億4,905万円	19億 746万円	56億5,189万円	47億 14万円	4億7,306万円	47億1,184万円	2億 890万円
移転支的的なコスト	217億6,189万円	32%	7億4,983万円	136億5,898万円	10億7,369万円	49億7,437万円	3,317万円	8億8,451万円	3億8,731万円
その他にかかるコスト	20億2,969万円	3%	—	—	—	—	—	—	20億2,969万円
行政コスト(合計) ①	679億3,227万円		94億5,269万円	201億3,603万円	101億4,785万円	113億9,437万円	36億6,410万円	96億4,377万円	34億9,342万円
(構成比)		100%	14%	30%	15%	17%	5%	14%	5%

【収入項目】

使用料・手数料等 ②	31億8,189万円	7億5,415万円	11億2,297万円	7億 244万円	4億1,589万円	1,201万円	1億 228万円	7,213万円
国庫・県支出金 ③	76億8,660万円	6億7,948万円	60億6,537万円	3億2,229万円	3億7,662万円	84万円	2億1,223万円	2,973万円
一般財源 ④	587億2,720万円	—	—	—	—	—	—	—
収入(②+③+④) ⑤	695億9,570万円	7億5,415万円	11億2,297万円	7億 244万円	4億1,589万円	1,201万円	1億 228万円	7,213万円
正味資産国庫・県支出金償却額 ⑥	13億 673万円	—	—	—	—	—	—	—
期首一般財源等	2,093億1,294万円	—	—	—	—	—	—	—
一般財源等増加額(⑤-①-⑥)	29億7,016万円	—	—	—	—	—	—	—
期末一般財源等	2,122億3,311万円	—	—	—	—	—	—	—

◎「その他」は、議会費・労働費・農林水産業費・商工費・災害復旧費・公債費・諸支出金・不納欠損額の合計です。

◎収入項目については、バランスシートの資産形成に充てた分を除いて計上しています。

◎「使用料・手数料等」は、使用料・手数料・寄附金・諸収入等当年度に発生した収入額です。

◎「一般財源」は、市税・地方消費税交付金・地方交付税等当年度に発生した収入額です。

◎万円未満切り捨てのため、個々の合計は必ずしも一致していません。

■ 市民1人当たり行政コスト計算書 (平成13年4月1日～14年3月31日)

行政コスト	総額	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	教育費	その他
人にかかるコスト	6万6,778円	1万2,889円	1万3,846円	1万 369円	5,211円	9,568円	1万2,264円	2,628円
物にかかるコスト	6万6,972円	1万3,481円	5,779円	1万7,125円	1万4,242円	1,433円	1万4,277円	633円
移転支的的なコスト	6万5,941円	2,272円	4万1,388円	3,253円	1万5,072円	100円	2,680円	1,173円
その他にかかるコスト	6,150円	—	—	—	—	—	—	6,150円
行政コスト	20万5,842円	2万8,642円	6万1,014円	3万 749円	3万4,526円	1万1,102円	2万9,221円	1万 585円

【収入項目】

使用料・手数料等	9,641円	2,285円	3,402円	2,128円	1,260円	36円	309円	218円
国庫・県支出金	2万3,291円	2,058円	18,378円	976円	1,141円	2円	643円	90円
一般財源	17万7,950円	—	—	—	—	—	—	—
収入	21万 883円	2,285円	3,402円	2,128円	1,260円	36円	309円	218円

平成14年3月31日現在の人口…33万20人

◎千円単位で作成した行政コスト計算書を人口で割り、円未満を切り捨てたため個々の合計は必ずしも一致していません。

バランスシートからわかること

平成13年度の資産総額は、3,394億7,320万円となり、正味資産は前年度と比べ、60億4,007万円増えました。これまで市民の皆さんに納めていただいた税金や、国や県から補助されたお金は、2,498億2,765万円です。今後支払っていかねばならない借金は、896億4,555万円あります。負債は平成12年度と比べ60億4,228万円増えたことがわかります。

行政コスト計算書からわかること

「人にかかるコスト」として行政サービスの担い手である職員等にかかるコストが220億3,832万円で、施設等の維持管理に要する費用(減価償却費含む)、備品購入費、委託料、使用料・賃借料等の「物にかかるコスト」が221億236万円、扶助費、補助費等の「移転支的的なコスト」が217億6,189万円であることがわかります。

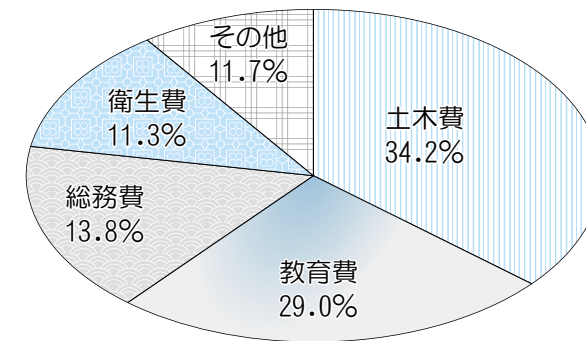
■ 市民1人当たりのバランスシート (平成14年3月31日現在)

借 方			構成比	貸 方			構成比
【資産の部】				【負債の部】			
1. 有形固定資産	95万5,660円	93%	1. 固定負債	25万7,880円	25%		
うち土地	46万9,776円		(1) 地方債	16万3,430円			
			(2) 債務負担行為	3万1,148円			
			(3) 退職給与引当金	6万3,301円			
2. 投資等	3万 402円	3%					
(1) 投資及び出資金	8,521円		2. 流動負債	1万3,756円	1%		
(2) 貸付金	3,928円		(1) 翌年度償還予定額	1万3,756円			
(3) 基金	1万3,913円						
(4) 退職手当組合積立金	4,040円		負債合計	27万1,636円	26%		
3. 流動資産	4万2,581円	4%	【正味資産の部】				
(1) 現金・預金	2万5,779円		1. 国庫支出金	10万3,528円	10%		
(2) 未収金	1万6,801円		2. 県支出金	1万 235円	1%		
			3. 一般財源等	64万3,243円	63%		
資産合計	102万8,644円	100%	正味資産合計	75万7,007円	74%		
			負債・正味資産合計	102万8,644円	100%		

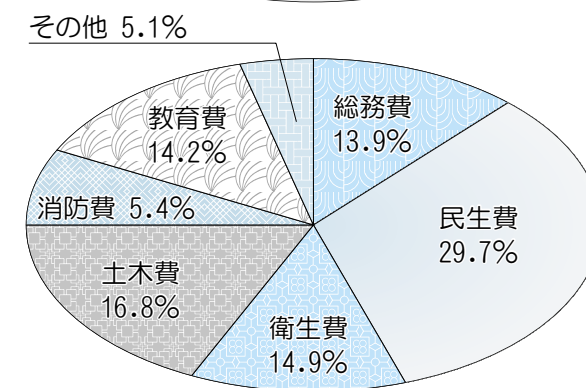
平成14年3月31日現在の人口…33万20人

◎構成比は合計に対する比率です。また、千円単位で作成したバランスシートを人口で割り、円未満を切り捨てたため、個々の合計は必ずしも一致していません。

有形固定資産の目的別割合



行政コストの目的別割合



用語説明

【行政コスト計算書】

人的サービスや給付のサービス等、市の行政活動に伴い発生した資産形成につながらない費用を算出したものです。

● 人にかかるコスト

議員や職員に支払われる人件費

● 物にかかるコスト

委託費、備品購入費等の物件費、施設の維持経費、減価償却費

● 移転支的的なコスト

法に基づき支給する扶助費、市民・団体等への補助金、国保会計や介護会計等への繰出金

● その他にかかるコスト

借入金の支払利息、不納欠損額

【バランスシート】

企業会計でいう貸借対照表のことです。基準日における資産、負債、正味資産の状況を明らかにするものです。

【資産】

資産のうち有形固定資産は、土地や建物、備品等の行政サービスを提供するために長期間にわたって使用される資産のことです。現金や預金等については、投資、流動資産等に分類されます。

【負債】

一般的に借入金にあたるものです。翌年度中に返済するものは流動負債、それ以外を固定負債に分類しています。

【正味資産】

企業の資本金にあたるものです。資産を形成するために使用した、市民の皆さんから納めていただいた税金等です。

【普通会計】

各自治体間の会計を比較するための概念上の会計で、一般会計と区画整理特別会計等を合算したものです。

【減価償却費】

土地以外の有形固定資産は、資産価値が減少しますので、その年に減少したと認められる額です。

【不納欠損額】

破産・倒産等により収納できなかった税金・使用料等です。



市長インタビュー

財務情報をわかりやすくお知らせします

● 財務諸表の必要性は何ですか。

斎藤市長 現在、市の財政運営は国と同様に大変厳しいものがあります。このような中、市では行政評価制度による事務事業の見直し等を行っていますが、健全で効率的な財政運営を維持していくための方策として必要なのが、企業会計的な考えを取り入れた財務情報の分析・公表であり、市の財政状況を把握する上では極めて重要なものだと感じています。

● 平成13年度の結果を見てどう思われますか。

市長 バランスシートの結果からは、東部クリーンセンターの建設工事が本格化したことに伴い、衛生費の有形固定資産等の増加が見られます。その他の投資的なものについては、限られた財源の中、歳出の抑制に努めたことから大幅な増額とはならなかったものと思われま。

また、行政コスト計算書からは、福祉にかかる費用である民生費が全体の30%を占める結果となっていますが、これは、本格的な少子高齢社会を迎えていくうえで、今後も大きな課題となってきます。

● 今後の課題をお聞かせください。

市長 厳しい財政状況が続く中、福祉にかかる扶助費の増加等も予想され、既存の事業を含め、いかに歳出を抑制していくのが重要になってきます。このためには、財務諸表の分析・公表、併せて行政評価制度等により、どのように効率的な財政運営を行っていくかが最大の課題だと考えています。

市民の皆さんにも市の財政状況をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

バランスシート・行政コスト計算書についての詳しい資料は、市役所1階・市政情報センターにあります。また、市のホームページでもご覧いただけます。

【ホームページアドレス】
<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp>

